

令和元年9月30日

日進市立竹の山小学校保護者各位

日進市教育委員会 教育長 久保田 力
日進市立竹の山小学校長 山田 環

令和元年度全国学力・学習状況調査結果について（お知らせ）

秋分の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

見出しの調査は、6年生の児童を対象として、国語・算数について、その学力の一部を「知識」「活用」といった観点から調査したものです。また、児童の学習意欲や生活習慣等についても、質問紙によって調査を行いました。この度、市全体と本校の傾向をまとめましたので、その概要をお知らせいたします。基礎・基本の一層の定着を図るとともに、調査結果を今後の学習指導に生かしていきたいと考えております。ご理解ご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。

1 日進市全体の結果について

算数は、全国・愛知県の結果より、平均正答率が高くなっています。一方、国語は愛知県の結果より、平均正答率が高くなっていますが、全国の結果より若干下回っています。

(1) 国語

「読む能力」が優れています。具体的には、「目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む」、「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む」能力に優れています。今後さらに読む力を高める工夫をしていきたいと考えています。しかし、「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う」「情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方の工夫を捉える」ことについて課題が見られます。既習の漢字を適切に使って文章を書くことや伝える相手を意識した文章表現を考えさせるなどを大切に学習指導を積み重ねていきます。

(2) 算数

全国・愛知県と比較し、本市の平均正答率は高く、どの領域においても着実に学力が定着しています。特に、「四則演算」「図形に関する量と測定」の能力に優れています。

その一方、「数量の関係」の領域への取組について課題があります。具体的には、「グラフから読み取ることができる内容を適切に判断する」能力です。今後は、目的に応じて表やグラフを選び、活用する活動を重視するとともに、身の回りの事象について表やグラフを用いて考察する学習指導を進めていきます。

(3) 生活面

昨年同様、毎日朝食をとり、規則正しい生活をしている割合が非常に高く、そのような児童は、規範意識、学習意欲、自己肯定感も高い傾向が出ています。新聞を読んだりニュースを見たりする児童の割合がやや低い傾向にありますが、地域社会などでボランティア活動した割合は全国・愛知県と比べて高くなっています。今後も、地域社会への興味・関心が高まり、地域行事に進んで参加することを期待します。

2 竹の山小学校の結果について

(1) 国語

全体的な平均正答率は、全国・愛知県の結果を上回っており、国語の授業内容がよく分かるかという設問に対しても87%の児童が肯定的に回答しています。

領域別にみると、「書くこと」「読むこと」「話すこと・聞くこと」で、全国や愛知県の平均正答率よりも高い結果となっています。本校は、教育活動の中で「相手を意識して意欲的に自分の考えを伝え合い、互いに学びを深め合う児童の育成」に取り組んでおり、道徳の授業においても、「話し合いを深める」ことに重点を置いて指導を進めています。「話す力」「聞く力」の定着に向けて手立てを講じており、その成果が表れていると言えます。

言語に関する領域においては、接続語やことわざに関する設問の平均正答率は、全国・愛知県の結果と比較して高い状況ですが、既習の漢字を活用する力に課題が見られました。国語以外の教科においても、指導を工夫していきたいと思えます。

(2) 算数

全体的な平均正答率は、全国・愛知県の結果を上回っています。

領域別に見ると、「数と計算」「量と測定」「数量関係」において、平均正答率が全国・愛知県の結果よりも高くなっています。特に、資料の特徴や傾向を関連付けて判断し理由も記述する問題、加法と減法の混合した整数と少数の計算、除法の式の意味を選択する問題で、全国・愛知県の結果を大きく上回っています。高学年で実施している少人数授業の成果が表れていると言えます。

「図形」においては、課題が見られました。台形についての理解を問う問題、図形の性質や構成要素に着目する問題は、正答率から、理解・定着が十分であるとは言えませんでした。具体物や視覚的補助教材を用いて指導したり、公式に至る過程を丁寧に指導したりすることで、図形に関する理解を一層深めさせたいと思えます。

(3) 生活面

- 全体的には規則正しい生活習慣が身に付いており、規範意識も高い傾向にあります。
- 自分の長所を見つけられるなどの自己肯定感が高い傾向にあり、物事を最後までやり遂げてうれしかったことは100%近くの児童が経験しています。また、困っている人を進んで助けようとする思いやりも多くの児童に見られました。
- 学校に通うことは、多くの児童が「楽しい」と感じています。また、全体の8割以上の児童が、学校での出来事を家の人と話している状況です。
- 「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」の設問では、課題が見られました。本校の校区は、さまざまな面から恵まれた環境にあります。少しずつ視野を広げ、課題意識をもって生活する力を育てていきたいと思えます。

※ ご不明な点がございましたら、教務主任 青木 隆までお問い合わせください。

(0561-75-5330)